西郷どん効果と新施設、新アクセスで注目の鹿児島県

―大河ドラマ効果・新施設・魅力的な交通アクセス―

NHK大河ドラマ「西郷どん」の放送にあわせてオープンした鹿児島市の「西郷どん大河ドラマ館」は10月末時点で入館者は約40万7千人。

6月の大阪北部地震、平成30年7月豪雨、度重なる日本列島への台風の襲来などの災害があったものの、観光庁の宿泊旅行統計によると、1月～9月の前年比で九州では鹿児島だけがプラスの伸び率となっており、ドラマ館を含め、県内の西郷隆盛ゆかりの地は多くの観光客で賑わっている。

仙巌園からの桜島

大河ドラマ効果があった鹿児島県内観光地

名勝　仙巌園（鹿児島県鹿児島市吉野町9700―1）

雄大な景観が美しい島津家の別邸、大名庭園として知られ、2015年には、「明治日本の産業革命遺産」として一帯が世界文化遺産に登録された。大河ドラマ「篤姫」、「西郷どん」放映では、2017年との比較は1月1日～11月13日で前年の約1・5倍、ゴールデンウィーク期間は前年の約2倍の入場者数となっている。

園内で販売されている薩摩切子も大河ドラマ効果で売り切れの商品も続出。とくにドラマに登場した当時のデザインを再現した薩摩切子は人気が高くなっている。仙巌園ではインバウンド向けにクレジットカード決済や中国のスマホ決済「アリペイ」に対応。西郷どん効果を大きく取り込む施策やインバウンド対策が奏効している。

雄川の滝（鹿児島県南大隅町根占川北）

近年、観光客が急増している大隅半島の雄川の滝。JR西日本の観光キャンペーンでメインビジュアルに使用され知名度がアップしたほか、大河ドラマ「西郷どん」ではオープニング映像に登場し、今年も大きく観光客は増加している。1月～10月で約2・81倍の観光客数となっている。

雄川の滝は落差46m、幅60m。駐車場から滝つぼまでは約1200mの遊歩道が続き、滝つぼ近くには2階建ての展望デッキが整備されており、ダイナミックな雄々しい断崖とエメラルドグリーンの滝つぼを見学できる（滝つぼでの遊泳禁止。遊歩道は天候により立入規制がある）。

また、滝の上部（錦江町）には車で近くまで行ける階段タイプの遊歩道と展望デッキがあり、滝の上部からも見学できる。

維新ふるさと館（鹿児島県鹿児島市加治屋町23―1）

大河ドラマ「西郷どん」放送にあわせて展示をリニューアル。映像などを使った体験型展示を導入し、薩摩藩独自の教育方法である「郷中教育」などについてより楽しく学ぶことができる。多くの入館者が訪れている。

龍門司坂（鹿児島県姶良市加治木町木田5088―1）

旧加治木町に残る古道。旧大口筋の一部で、木田の高井田から毛上に通ずる石畳の坂。明治10年（1877年）の西南の役の際は、西郷隆盛率いる薩軍がこの坂道を通って熊本へ向かった。1996年に文化庁より「歴史の道百選」に選定。大河ドラマ「篤姫」のロケ地として知名度が上がり、今年も西郷隆盛ゆかりの地として人気を集めている。近くには龍門滝もある。

鰻池・鰻温泉（鹿児島県指宿市山川成川651―7）

西郷隆盛も入ったといわれる鰻温泉。神秘的な火口湖・鰻池のほとりにある。泉質は単純硫黄泉。源泉の温度は約90度と高温。区営の日帰り温泉施設があり、周辺も大河ドラマ「西郷どん」放送にあわせて整備された。

特に温泉蒸気を利用して調理する「スメ」体験の施設も新設され多くの観光客が訪れている。

池田湖（鹿児島県指宿市池田）

池田湖周辺も大河ドラマの効果があったエリア。池田湖にあるドライブインの池田湖パラダイスは、前年が好調であり、今年も前年と同じく好調という。同施設に立ち寄り食事や買い物休憩を行い、池田湖の景色や植栽された四季折々の花々、池田湖から見える開聞岳の景色を楽しむ人が多いという。また同施設では、池田湖エリア最大の天然記念物の大うなぎを鑑賞できる施設も人気となっている。

池田湖は指宿温泉から車で約20分と近く、夏場のウォータースポーツの人気も高まっている。

宮古崎（鹿児島県大島郡大和村大字国直668―7）

大河ドラマ「西郷どん」では多くの場面に登場した奄美大島。タイトルバックとしても登場した宮古崎は特に人気を集めている。東シナ海を目の前に、岬一帯にリュウキュウササが群生しており、通称「ササント」と呼ばれる。奄美群島国立公園に指定されている鹿児島県大和村最大の景勝地。

雄川の滝

リニューアルした維新ふるさと館

龍門司坂

鰻温泉に新設されたスメ

池田湖

宮古崎

注目の新観光施設

霧島市日当山西郷どん村（鹿児島県霧島市隼人町内1487―1）

2019年1月23日に物産館や足湯などが整備され「日当山西郷どん村」が完成する。

昨年は「西郷どんの宿」が完成。西郷隆盛がよく訪れた日当山温泉郷には、温泉はもちろん、西郷隆盛が狩りや釣りを楽しんだ話などが伝わっている。その際宿泊したのが龍宝家の屋敷と言われており、元々あった龍宝家の屋敷の建物を復元した「西郷どんの宿」が老朽化したことや、2018年が明治維新150周年の年にあたり、大河ドラマ「西郷どん」の放送などもあり、霧島市の新たな観光拠点施設として「西郷どんの宿」を新たに建設した。

佐多岬（鹿児島県肝属郡南大隅町佐多馬籠4―3―5）

本土最南端の岬。岬の先端部に新展望台が整備され2018年1月16日から一部が開放されている。新展望台の遊歩道が順次整備されており、今年度中には工事が完了し、新展望台の供用開始も始まる予定。新展望台のトイレは工事中のため使用できないので、佐多岬公園エントランスのトイレを利用してから散策と見学に行くのがおすすめ。

佐多岬南端の断崖から50m沖の大輪島には、日本最古の灯台の一つ、佐多岬灯台がある。佐多岬突端に通じるトンネル入口付近には佐多岬公園エントランスがオープンしている。観光案内所や展望広場、駐車場などが設けられ、佐多岬や佐多岬灯台を気軽に見学できるようになった。案内所はカフェのような設計で、観光情報のほか、Wi―Fiも利用可能。地元特産のフルーツジュースや海水塩「楽塩」を使ったソフトクリームも販売されている。

順次整備が進んでおり、観光客は増加傾向。今年度末の遊歩道完成と新展望台の供用開始で、ポスト大河ドラマの観光エリアとして期待が集まっている。

霧島市日当山西郷どん村パース

佐多岬

魅力的な交通アクセス

指宿から大隅半島に

雄川の滝、佐多岬、新造船が就航したフェリーさんふらわあが運行される志布志港のある大隅半島には、全国的にも高い人気を誇る指宿温泉からは、最寄りとなる指宿港より高速船「なんきゅう10号」で約20分と近く、夏場のウォータースポーツの人気も高まっている。指宿港へは各旅館から車で5分から15分程度で移動できる。指宿港（指宿市）～根占港（南大隅町）を1日4往復運航していることから、指宿温泉を拠点とした日帰り観光も可能。同市内の山川港からはフェリーも運航されている。

カジュアルクルーズを提案

フェリーさんふらわあは、大阪港～志布志港間で今年から新造船「さんふらわあ　さつま」「さんふらわあ　きりしま」の2隻の運航を開始。従来の2・5倍となった船内中央のパブリックスペース、近年人気となっている観光列車を彷彿とさせる客室をはじめ、バイキング形式レストラン、1・7倍に拡大され海を眺めて入浴できる展望浴場などを整備。インバウンド向けには、船内の電子表示板や客室内のテレビ、船内Wi―Fiを使ったスマホサイトなどで多言語の案内を行っている。またバリアフリールームやバリアフリー設備も用意した。客室はツーリストなど相部屋からシングルユースも可能なモダンなタイプの客室を用意。

従来のフェリーの往復やヒット商品となった現地0泊船内2泊の弾丸フェリーに加え、客室がグレードアップしたことで周遊型や高級タイプのニーズも高まっており、往路又は復路をJRや航空機利用などと組み合わせる観光ルートも注目を集めている。（現在機関調整のため運航ダイヤ等は、公式サイトで確認が必要）

新幹線と航空機を組み合わせた旅行商品

JR西日本と日本航空は、関西地区から宮崎・鹿児島方面に向けて周遊型観光の促進による新規需要の獲得を目的に片道航空機、片道新幹線利用の旅行商品を発売している。商品の内容は、九州方面観光性個人型旅行商品。JTB、日本旅行、近畿日本ツーリストで発売する。

同商品では新幹線車内、空港で使えるお得なクーポン（1人500円分）を付けた。利用列車、便限定のため料金も割安にした。さらに博多駅で途中下車可能。福岡観光も同時に楽しめる。

おすすめのモデルコースでは、鹿児島県内は坂元のくろず（観光・昼食）、桜島湯之平展望所などが挙げられている。

坂元醸造壺畑

フェリーさんふらわあの新造船

高速船「なんきゅう10号」

問合せ先
観光かごしま大キャンペーン推進協議会
鹿児島県　観光課
鹿児島市鴨池新町10―1　TEL：099-286-5050
(公社)鹿児島県観光連盟
鹿児島市名山町9―1　TEL：099-223-5771
http://www.kagoshima-kankou.com/